

2022年12月7日
住友生命保険相互会社

第4回 日本サービス大賞の「優秀賞」「審査員特別賞」をW受賞 ～健康増進型保険“住友生命「Vitality」”の取り組み～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）の健康増進型保険“住友生命「Vitality」”が、公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会（SPRING）が主催する第4回 日本サービス大賞[※]の「優秀賞」「審査員特別賞」をW受賞しました。

※日本サービス大賞とは、革新的で優れたサービスを賞する日本最高峰の表彰制度です。内閣総理大臣賞をはじめ、サービスを管轄する各省の大臣賞などの各賞により、日本国内の優れたサービスを幅広く表彰しています。

詳細は、<https://service-award.jp/>をご覧ください。



取締役 代表執行役社長 高田幸徳（左から1人目）



■受賞理由（特に評価されたポイント）

- ・健康増進活動をポイント化し、それに応じて保険料が変動するサービスは国内で類を見ない。従来「リスクに備える」ものであった保険に「リスクを減らす」という価値を付加した、行動変容を促す革新的な保険サービスである。
- ・これまでの保険を変革するサービスモデルを実現したことで、「健康増進」という新たな価値を実現し、社会課題である「健康寿命の延伸」への貢献が期待される。

*健康増進型保険“住友生命「Vitality」”の詳細は、<https://vitality.sumitomolife.co.jp/>をご覧ください。

住友生命は、“住友生命「Vitality」”を中心とした、「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」に貢献するサービスの提供を通じ、「なくてはならない」生命保険会社の実現を目指していきます。

以上